

見ればわかる。魅せる最新の生命科学 ポスター発表

(氏名五十音順)

研究助教
泉川 友美 IZUMIKAWA Tomomi
「Hyaluronan production regulates metabolic and cancer stem-like properties of breast cancer cells via hexosamine biosynthetic pathway-coupled HIF-1 signaling.」

研究員
岡本 郁 OKAMOTO Kaoru
「植物が独自に獲得した DNA 損傷応答因子 SOG1 の機能解析」

研究助教
桶川 友季 OKEGAWA Yuki
「シロイヌナズナにおける葉緑体チオレドキシンの生理学的解析」

研究員
阪上 春花 SAKAUE Haruka
「ミトコンドリア外膜 TOM 複合体のアクセシビリティにおける Por1 の役割の解析」

研究員
千葉 直美 CHIBA Naomi
「膜内において YidC が作り出す親水性微小環境とその重要性」

研究員
辻村 真衣 TSUJIMURA Mai
「雄性不稔タマネギのミトコンドリアゲノムの解析」

研究助教
寺元 万智子 TERAMOTO Machiko
「SOX2-dependent determination of tissue identity in the foregut」

研究員
中西 温子 NAKANISHI Atsuko
「好熱菌 *Thermus thermophiles* V₀V₁ の単粒子解析」


研究助教
藤田 明子 FUJITA Akiko
「コレラ毒素の作用における糖たんぱく質とフコースの役割」

研究助教
山下 智子 YAMASHITA Tomoko
「上皮性癌細胞の発現する Trop-2 を介した細胞接着への影響」

総合生命科学部には、現在学部生 475 名中 228 名 (48.0%) の女子学生が在籍しています。また、大学院生命科学研究科には 55 名の大学院生中 35 名 (63.6%) の女子大学院生が在籍し、生命科学に関する研究を活発に行っています。

若手女性研究者の皆様が熱心に研究に打ち込まれた成果を発表し、目を輝かしてその面白さについて語っていただく姿から、多くの若い方が研究という道をたどる将来の自分の姿をイメージし、後に続くことを期待します。また、研究者という進路を選択しない方にも、この触れ合いを通じて未来に向けて自分のキャリアに希望を抱いていただくことを祈っております。

ダイバーシティ推進室 副室長
総合生命科学部 教授
瀬尾 美鈴



研究員
柚木 芳 YUNOKI Kaori
「ミトコンドリア内膜膜透装置構成因子 Tim50 がもつ 2 つのプレ配列認識ドメインの機能解析」

生命科学分野で輝く女性研究者

2017.3.3 (金) 12:30~13:10 (掲示は 12:00~17:20)

京都産業大学 むすびわざ館 2 階ホール

申込不要・入退場自由

主催：京都産業大学 総合生命科学部
共催：京都産業大学 ダイバーシティ推進室